

那覇市立壺屋焼物博物館

「壺屋やちむん通り祭り2010」開催!



～11月は壺屋焼関連のお祭りが盛りだくさん!～

文化の秋になりました。壺屋焼物博物館や壺屋地域ではイベントが盛りだくさんです。みなさまお誘いあわせの上お越しください。

●「壺屋やちむん通り祭り2010」

10月31日(日)から11月3日(水)まで、壺屋地域では「壺屋やちむん通り祭り2010」が開催され、店舗での割引販売やライブなどが行われます。当館も次のイベントを行います。

●11月1日(月)は無料開館

壺屋焼物博物館は毎週月曜日は休館日ですが、11月1日(月)は無料で開館します。

●壺屋窯元めぐり

博物館ボランティアガイドが壺屋の窯元を案内いたします。職人の技をご覧ください!

■11月1日(月) 10時半と13時半からの2回開催(各回約1時間)

●企画展「人間国宝の茶陶」

当館が所蔵する優れた茶陶コレクション「K&Kコレクション」を一堂に公開。人間国宝の石黒宗磨、荒川豊蔵、濱田庄司、金城次郎、さらに加藤唐九郎やバーナード・リーチの茶陶を展示いたします。



金城次郎 作



荒川豊蔵 作

■11月1日(月)～6日(土)まで。 ■観覧無料

●現代沖縄陶工展「湧田弘」

沖縄県内で活躍する陶芸家を紹介するシリーズ企画展「現代沖縄陶工展」。今回はシーサーづくりの名手・湧田弘氏を紹介いたします。壺屋焼に携わって40年以上のベテランの技が作り出す沖縄独特のシーサーをお楽しみください。

■11月13日(土)～28日(日) ■観覧無料

【お問い合わせ】壺屋焼物博物館 ☎862・3761

那覇市歴史博物館

開館時間
午前10時～午後7時
木曜休館
☎869-5266 FAX 869-5267

企画展「那覇の名橋と知られざる橋」 ～石とアーチに架ける夢～

■11月5日(金)～12月27日(月) ■一般300円

ギャラリートーク(考古学や建築学の視点から石橋をみます)

①11月24日(水) 上原静氏(沖縄国際大学教授・南島考古学)

②12月1日(水) 福島駿介氏(琉球大学名誉教授・建築計画学)

各回 18時半～(1時間程度)

■入館料が必要 ※申込不要

docomo

聞かせて! FOMAの電波状況

お客様の「つながる」にこだわり、 原則48時間以内*に 訪問・調査を実施いたします。

お客様の「つながりにくい」という声に、しっかりと
応え続けたい。そう考えるドコモは、離島・沿岸でも、
気持ちまで伝えられる品質向上に努めています。

※movaからFOMAへの変更、FOMA新規ご契約を検討中のお客様宅の電波調査も実施します。
※訪問は平日10:00～17:30となります。(年末年始は除く)
※離島や山間部など、一部地域では、訪問までに48時間を超える場合があります。

キャンペーン 情報

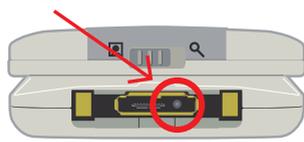
movaからお買い替えのお客様に
お得な引き実施中!

movaの見分け方!!

check
point

FOMA

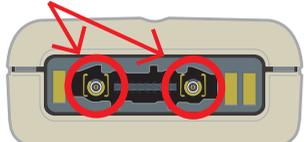
丸い部分が一つある



〈充電器差込口〉

mova

丸い部分が二つある



〈充電器差込口〉

くわしくは お近くのドコモのお店へ



秋空に響く“ハイヤ!”の掛け声

～「第40回那覇まつり・ 那覇大綱挽」開催!!～

9月20日(月)の「敬老の日」を前に、翁長市長が9月19日(日)、新百歳となる親泊カナさんと天久スミさんを訪ね、写真入りの祝状と内閣総理大臣からの銀杯を贈りました。
親泊カナさんは足腰も元気で、健康に毎日を過ごしており、天久スミさんは、チラシでゴミ箱をつくったり、大好きな歌を歌って過ごされているそうで、この日も市長を前に歌声を披露しました。
翁長市長は、「これからもますます元気で過ごされ、市民の見本となってください」と祝辞をのべました。



これからも “ちゃーがんじゅう”で ～慶祝訪問～ (写真は親泊さん宅)



紙芝居がやってきた!!

～全市立幼稚園・図書館へ 大型紙芝居の寄贈～

10月5日(火)、光文堂コミュニケーションズ株式会社(代表取締役社長 外間政春氏)から、大型紙芝居「りゅうとにわとり」の寄贈がありました。
寄贈は、同社の創業60周年を記念した地域還元事業として行われました。郷土の著名な画家、儀間比呂志氏の絵・脚本、講演活動などで活躍する高見知佳さんの朗読CDに、紙芝居台座など一式が、県内すべての幼稚園・公立図書館へ贈られ、寄贈を受けた城間教育長は「子どもたちの情操教育に役立てます」と話しました。

10月9日(土)、那覇平和芸術祭「那覇センセーション」が市民会館で上演され、専門家の演技指導のもと、市内の青少年の可能性を伸ばすための「那覇青少年プログラム」に参加した小・中・高校生が平和のメッセージを伝えました。
那覇平和芸術祭は、悲惨な沖縄戦の体験を記憶にとどめ、平和を愛する市民ひとりひとりの心を、芸術文化を通して広く内外に発信することを目的に行っています。
本番当日は多くの市民が会場を訪れ、児童・生徒たちの躍動感あふれる舞台発表に大きな拍手をおくりました。



市民の平和を願う こころを伝えたい ～「那覇センセーション」開催～